



羅針盤

2013年度 第5号
都立豊多摩高等学校
進路図書部
2013. 6.12



毎年1学期に「進路のしおり」を配っています。先輩たちの受験結果を参考にできる、皆さんにとって最も身近に感じられる進路資料でしょう。今年の配布は6月末頃の予定で現在編集作業中です。

ただ、せっかくの先輩たちのアドバイスが「もっと早く教えてもらえばよかった」ということになりかねない文章もあります。そこで、ごく一部ですが配布に先立って紹介しますので、3年生に限らず、今後の学習や進路検討に役立ててください。

◇1学期に通り英単語、古単語、文法を終わらせておくことが、2学期以降とても重要だったと気がきました。2学期から英語は主に長文をやっていたので、文法もやるとなるととても大変です。それから、早いうちから長い勉強時間に集中する癖をつけておくようにしました。なるべく朝おきる時間と、夜寝る時間を変えないようにして勉強する癖をつけるようにしました。

(上智大学 外国語学部 ポルトガル語 65期生 T. S. 君)



◇3年生になると選択授業になり、自習する時間が多くなったので、それを有効に利用しました。10月までに英単語・文法を1通り終え、それから赤本など少しずつ長文を解くようにしました。日本史はとにかく毎日見ることが大事だと思います。特に資料集は細部まで見るとよいと思います。

3年生は授業に来ない人が増えてきますが、学校の授業はそのまま受験勉強に直結しているので、休まず出席することが本当に大切だと思います。自分は夏休みの最後まで部活をやり、周りとのそれまでの勉強量の差で不安になりました。しかし、それは部活が終わってからいくらでも取り返すことが十分できるので、部活を悔いのないように頑張ってください。

(学習院大学 法学部 政治学科 65期生 W. S. 君)

◇僕が第一志望を決めたのは高校2年生の夏でした。脳に関する勉強がしたいと思い、オープンキャンパスに行って面白そうだったので決めました。しかし、その時はまだそこに行きたいと思うだけで何もせず、しっかりと勉強を始めたのは部活動を引退した5月でした。それまでは部活動をしっかりやっていました。

(東京理科大学 理工学部 情報科学科 65期生 O. H. 君)

◇2年のときは、文系か理系か迷っていましたが、歴史が好きなので文系にしました。志望校を決めたのは、2年から3年になる春休みでした。明治大学へは、2年の夏休みにオープンキャンパスに行き、その雰囲気が入っていたのでそこを目標にしました。明確に第1志望として意識したのは、3年生になるときです。

(明治大学 文学部 史学地理学科 65期生 K. T. 君)

◇夏休みが始まるころに、それまでの志望校からランクを上げて明治を選びました。2年生のときに、TPPの議論が盛んになったことがきっかけで、経済を勉強をしたいという意志は固まってきたのですが、大学にこだわりはなかったので上を目指すことにしました。

(明治大学 政治経済学部 経済学科 65期生 S. K. 君)

◇早い時期から問題演習に取り組み、教科書への理解を深めることで、センター90点は取れるようになります。これから様々な苦難があろうかと思いますが、決してめげずに頑張ってください。

(センター試験高得点教科 物理 得点 90 65期生 I. K. 君)

◇私は、一般入試ではなく推薦入試で合格しました。しかし、推薦入試を受けようと思ったのは夏休みに入ってからなので、小論文の勉強もまったくしていなかったので大変でした。公募推薦やAO入試を考えている人は早めの対策を取るべきだと思います。頑張ってください。

(センター試験高得点教科 化学I 得点 97 65期生 Y. S. さん)



オープンキャンパス情報です。いよいよたくさんの大学が開催し始めます。特に2年生は、志望校を絞り込む前にぜひ積極的に参加してみましょ。

下はごく一部です。自分で資料を検索しましょう。



6月15日(土) 日大(法)・専修・女子栄養・共立女子・日本薬科・文化学園

6月16日(日) 日本女子・昭和女子・東海・北里・東京電機・工学院・帝京科学

6月22日(土) 日大(商)・杏林・駒沢女子・昭和薬科

6月23日(日) 法政・武蔵・帝京・東京工科・亜細亜



推薦入試はほぼ半世紀の歴史を持つが、特に私立大は戦後の新設ラッシュと共に増え続け、1988年度に300校台、2003年度に500校台に乗り、2013年度には573校(公募・指定校制合計)に達している。

公募制の実施状況(2012年度)は、次のとおりとなっている。

	募集校数	公募実施校数	公募実施率
国立大	82校	76校	92.7%
公立大	81校	79校	97.5%
私立大	576校	544校	94.4%
	全入学者数	推薦入学者数	推薦入学者比率
国立大	100,019人	12,428人	12.4%
公立大	29,750人	7,153人	24.0%
私立大	464,589人	187,361人	40.3%

国立大における入学者比率は全体では小さいが、推薦実施校の場合、その推薦入試は受験機会の複線化の観点からも貴重な受験ルートと言えよう。公立大では年ごとに推薦入学者比率が上昇しており、25%を突破するのは時間の問題とみられる。

私立大・短大では、現役生がAO入試へ分散する傾向が続いていたが、この1~2年、再び推薦シフトが強まりつつあるので十分注意する必要がある。

(以上この項目は(株)栄美通信からの抜粋引用)

以上